

特集

環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」を目指して

～ 水と緑に恵まれた環境が保全・創造され、人と自然が共生しながら発展する富山 ～

1 はじめに

現在、私たちは、都市・生活型公害や廃棄物による環境負荷の増大から、まったなしの状況にある地球温暖化をはじめ、黄砂や酸性雨、漂着ごみなどの国境を越えて影響を及ぼす地球規模の問題まで、広範囲に及ぶ環境問題に直面しています。当然、富山県もその例外ではありませんが、本県では、産業公害を克服してきた経験とその中で培われた県民の高い環境意識のもと、数々の環境問題に果敢に取り組んでいます。

この特集では、富山県が県民の皆さんと力を合わせて取り組んでいる施策のうち、平成25年度の取組みを紹介します。

2 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

【現況】

平成23年度における一般廃棄物の再生利用率は、前年度に比べて3.0%増加しています。また、22年度の温室効果ガス排出量は、基準年度（2年度）と比べ5.1%減少していますが、民生部門（業務・家庭）は増加しています。

ごみや二酸化炭素を極力出さないエコライフを推進するため、県民団体や事業者などが参加する「環境とやま県民会議」を中心に、レジ袋削減など県民総参加の取組みを進めています。

①生ごみ広域リサイクルモデル事業【新規】

スーパーの生ごみを対象とした広域リサイクルモデルの実証実験を行っています。

②富山型使用済小型家電等のリサイクル普及促進事業【新規】

市町村による取組みを一層推進するため、啓発資材の作成、回収活動の支援などを実施しています。



〈使用済小型家電等のリサイクル〉

③とやまメガ節電所プロジェクト

節電行動を登録することで、仮想の「メガ節電所」が稼動するウェブサイトを運営し、節電の取組みを呼びかけるキャンペーン等を実施しています



〈エコ・ストア制度の啓発活動〉

④「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大【新規】

レジ袋無料配布取止めに加え、資源回収など環境に配慮した取組みを消費者と協働で推進する小売店舗「エコ・ストア」を登録する新たな制度を構築し、普及・拡大を図っています。

3 自然環境の保全

【現況】

富山県は本州一の植生自然度を誇り、豊かな自然に恵まれています。経済活動の進展等に伴う環境負荷の増大で、人と自然との関係が希薄化しています。

また、生態系の維持・回復など生物多様性の確保の取組みの重要性が拡大しています。

①自然保護講座（ジュニアナチュラリスト養成コース）の開催

小学4年生から中学3年生を対象に、将来のナチュラリスト候補者を育成しています。



〈ジュニアナチュラリスト養成コース〉

②第11回世界自然・野生生物映像祭の開催支援

自然や野生生物の映像を通じて、野生生物との共生及び地球の環境保全への理解を深めるため「第11回世界自然・野生生物映像祭」の開催を支援しています。

③ラムサール条約登録湿地等の保全・適正利用推進事業【新規】

ナチュラリスト活動の拡充を図るとともに、湿地展望施設の整備等を行います。



④立山のバス利用の適正化等に関する調査検討事業【新規】

立山有料道路等におけるバスの適正な利用に向け、沿線の植生に対する影響や交通の実態等を調査・検討します。〈立山室堂ターミナル駐車場での排出ガス調査〉

4 生活環境の保全

【現況】

県内の生活環境は概ね良好な状況ですが、ダイオキシン類による底質汚染のほか、微小粒子状物質（PM2.5）への迅速で的確な対応、県民等による自主的な環境保全活動の展開が必要となっています。

また、日本海対岸地域の工業化等により、漂着ごみや越境大気汚染等の国境を越えた環境問題が顕在化し、わが国への影響が懸念されています。

このほか、イタイタイ病の貴重な資料や教訓等の後世への継承が必要となっています。

①とやま水の健康増進事業【新規】

水質環境計画改定に向けた調査検討、「とやま川の見守り隊」の募集を行っています。



〈とやま川の見守り隊〉

②海岸漂着物対策事業

小矢部川をモデルとして、流域の関係者による効果的な発生抑制対策を検討しています。

③PM2.5の監視体制の充実等

PM2.5の自動測定機を増設するほか、高濃度の場合に備え、国の基準よりも厳しく、よ

り安全側に立った注意喚起の体制確保に努めています。

④ NEAR（北東アジア地域自治体連合）海辺の漂着物対策に関する啓発事業

海辺の漂着物調査、漂着物アートキャラバン等を実施しています。



〈漂着物アートキャラバン2013〉

⑤ イタイイタイ病資料館管理運営事業

語り部事業、資料館に来て・見て・学ぼう事業等を行っています。

5 水資源の保全と活用

【現況】

本県の豊かで清らかな水資源を維持・保全していくためには、森林をはじめとする水源地域を無秩序な開発から未然に守るとともに、地下水については、消雪設備の増加等に伴う冬期間の地下水位の一時的な低下への対応が必要となっています。

また、全国2位の豊かな包蔵水力（水力発電として利用可能な水力エネルギー量）を活用した小水力発電の導入が進んでいます。



〈地下水の守り人の活動〉

① 水源地域保全条例の普及啓発【新規】

水源地域の土地所有者等をはじめとする県民全体に条例の普及啓発を行っています。

② 豊かな地下水保全・涵養事業

地下水の守り人による消雪設備のパトロールを行うほか、地域での地下水涵養の仕組みづくりを検討しています。



〈山田新田用水発電所（南砺市）〉

③ 小水力発電所の建設

小摺戸発電所（仮称、入善町）、鋤川用水発電所（仮称、滑川市）、中野放水路発電所（仮称、砺波市）の建設を継続しています。

6 おわりに

これまでの環境保全施策に一定の進展が見られる一方で、地球規模での環境問題（地球温暖化、資源枯渇、生物多様性の損失等）の深刻化が懸念されているほか、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直した安全・安心で持続可能な地域づくりが求められています。

富山県では、今後とも本県の特色を活かし、県民一人ひとりが将来にわたって持続可能な地域づくりに向けた取組みを他に先駆けて果敢に実践することによって、良好な環境を保全するとともに、環境に優しい再生可能エネルギーを創造し、環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」の実現を目指します。

環境月間ポスター 富山県知事賞 (最優秀賞)



小学生の部 高岡市立二塚小学校 6年 大坪 久茉莉 さん



中学生の部 南砺市立吉江中学校 3年 吉田 妃那 さん

愛鳥に関するポスター 富山県知事賞



小学生の部 砺波市立砺波南部小学校 6年 北島 聖也 さん

中学生の部 砺波市立庄川中学校 3年 齋藤 夢加 さん



高校生の部 富山県立高岡工芸高等学校 3年 武内 由佳 さん